

研究課題名	口腔内環境が腭癌術後の長期予後に与える影響について
研究期間	実施許可日 ~ 2028年3月31日
研究の対象	2014年12月~ 2021年12月の間に広島大学病院で術前に歯科を受診し、消化器外科で腭癌の治療を受けられた方
研究の目的・方法	研究目的：術前のお口の健康状態が、手術後の経過に及ぼす影響について明らかにすることです。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、お口の健康状態が手術の後の状態に影響するかについて検討します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、ASA-PS、術前診断、病理組織診断結果、補助化学療法、術後経過（合併症、再発）、術後生存期間、BMI、既往歴、術前血液検査結果、残存歯数、咬合支持域等の口腔内情報 情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科外科学 准教授 上村健一郎
利用または提供を開始する予定日	2025年2月10日（実施許可日以降）
個人情報の保護	情報は研究に使用する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科外科学 准教授 上村健一郎
その他	—
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。  また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

	<p>広島大学病院 消化器外科</p>
--	---------------------

担当者：柴田 祥之、 上村 健一郎

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5216